

# PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

## 「はるかな尾瀬～(^^♪」 楽しければ続く！



先日、教育実習生の中澤先生の音楽科の検証授業があり、「夏の思い出」が題材でした。2・3年生の皆さんも1年生の時に学習したので、よく知っている曲だと思います。

ところで、皆さんはその歌の舞台である尾瀬に行ったことがありますか？ 私は、6年ほど前から友人に誘われてトレッキングをはじめたのですが、そのきっかけとなったのが、この尾瀬に行ったことでした。初めて行ったときは、9月の尾瀬で、この歌に出てくるような水芭蕉の花が咲き誇る季節ではなく、下の写真のように草紅葉が一面に広がる季節でした。それまで、その友人には何度となく、尾瀬に行くことを誘われていたのですが、「なんでわざわざ歩くために遠くまで行くしかないんだよ」と断り続けていました。ところが、その頃、老後の趣味について考え始めていたということもあり、試しに行ってみることにしました。そうしたところ、自然の中から聞こえる川のせせらぎ、小鳥のさえずり、そして下界の喧騒けんそうから解放された解放感などから、みるみるその魅力に取りつかれていきました。そして、マイナスイオンを浴びながら歩き続けると、ゴールには山小屋が待っていました。山小屋では、他の登山者との会話も弾み、帰るころには、すっかり登山者気分を味わっていました。



その尾瀬でのトレッキング以来、尾瀬にはコロナ禍を除き、ほぼ毎年1～2回は行っています。また、茨城近郊の山もいくつか登りました。実は、前校長の横田先生もトレッキング仲間の一人なんです。たぶん、これからも足腰の動くうちは、仲間とともにこの趣味を続けていくと思います。

この趣味を続けることができた要因は、「楽しかった」という経験です。「楽しい」ことは継続します。そして、継続すれば力になります。生徒の皆さんも、学習でも部活動でも「楽しい」を見つけることから始めてみてはいかがでしょうか。

みんなで「楽しい」を追求していきましょう！

